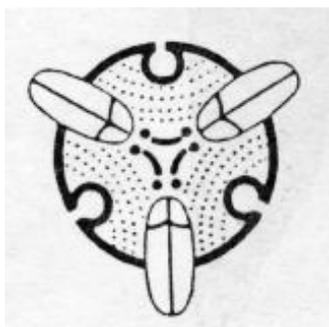


始業式の時にお願いした「あいさつ」「名前を呼ばれたら『はい』の返事」「靴そろえ」皆さんはどうでしょうか。

1年生を迎える会の時にもお話ししましたが、1年生は皆さんの姿を映し出す鏡というお話をしました。1年生のみなさんのあいさつや返事靴そろえ、相変わらずとってもすばらしいです。

これも2年生3年生4年生5年生6年生のみなさんが1年生の立派なお手本になってくれているからだと思います。ありがとうございます。1年生の皆さんもお兄さんお姉さんのすばらしい姿をどんどん真似してほしいと思います。



さて、これを見て下さい。なんだか分かりますか。そうです。下氷鉤小学校のマーク、校章といます。今から92年前、大正13年 下氷鉤尋常高等小学校と呼ばれていた頃、学校に勤めていた青木修一郎という先生が、この校章を考えたのだそうです。

この校章には、ある昆虫がいます。なんだか分かりますか。そうですね、ホタルが3匹います。

外側の形は雪の結晶を表しています。

昔から一生懸命勉強することを「螢雪の功をつむ」と言います。

昔々の中国では、貧しい家の子どもは、夏に螢を集めてその光で、夜遅くまで勉強をしたそうです。

また冬は、雪を窓の所において、月明かりなどを雪に反射させて勉強したということです。

そこから、螢雪という言葉が生まれました。

下氷鉤小学校の校章ってすばらしいですね。

さて今日は、校章にもある「ホタル」についてお話をします。

まずこの地図をみてください。これが皆さんの住んでいる町です。ふるさとと言ってもいいですかね。赤い線の内側に住んでいる人が、下氷鉤小学校に通っています。



今から、8年前。6年生のある学級が、作新の時間の中で、自分の住んでいる町を探検して、自分のふるさとのすばらしいところや、問題だなあと思うところを調べる勉強をしました。

お家の人や地域の人と一緒に、自分の住む町を探検をしたんです。

その中でいろいろすばらしいことを発見したんですが、いろいろな問題も見つかったんです。

そして6年生の皆さんは、3つの願いを持ったのです。

まず南バイパスの地下道。なんとなく薄暗くて怖いイメージがあるので、もっと明るく楽しい地下道にならないかなって考えたんです。それで壁に大きな絵を飾ったらいいのではないかと考えたんです。

それから、2つめの願いはいろいろなところにゴミが落ちていてとっても気になったようです。

それで町をきれいにするために、ゴミ箱を作ってゴミのないきれいな町にしたいと考えたんです。

それから、3つめの願いは、自分の住む町に大きな道路やお店がどんどんできてきたのはいいけど、

その分自分たちの住む場所の自然がどんどん壊されているんじゃないのかな、と心配になったようです。その中から、下氷鉋小学校の中に校章にもなっている「ホタル」が舞っている姿をみたいと願ったのです。

この写真は、「自分たちの町を空から見てみたら」という題名です。みんなで力をあわせて大きな紙に絵を描いたんですね。それを丈夫なケースに入れて地下道に飾りました。皆さんの中に、地下道を通して通学しているお友だち毎日この絵を見ていることでしょう。

この写真はゴミ箱をお家の方や地域の方も一緒になって作っているところです。お店とか公民館、老人ホームなどに配ったそうです。このゴミ箱を見たことある人はいますか？

そしてみなさんにお話ししたかったのがこれです。

8年前の6年生が、学校の中でホタルの飛んでいる姿を見たいと言う願いを持ちました。

その願いは、見事に叶いましたね。どのようにして願いが叶ったのかをこれからお話しします。



願いを叶えるために、住民自治協議会の皆さんやお父さんお母さん先生方、そして児童会の代表の皆さんで「ホタルの里再生実行委員会」という組織を立ちあげたんです。そしてみんなの意見を集めながら、ホタルが棲むことのできる川を作ろうということになりました。



こうしてみんなの力をあわせてホタルの棲むことのできる水路が完成しました。

この水路の名前を募集したところ、下氷鉋小学校の皆さんやお家の人地域の人から、こんな名前がいいのではないかとたくさん寄せられました。児童会の役員の皆さんで選んだ結果「ホタルの小径」と決まったのです。



そのあと、長野ホタルの会からホタルの幼虫をいただき、ホタルの小径に放流しました。

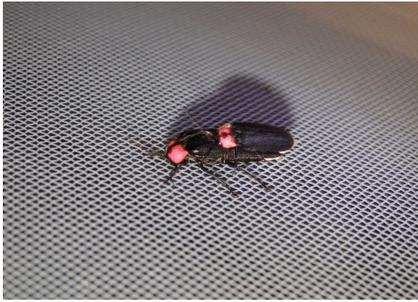
児童会で考えたホタルのキャラクターかわいいですね。

ホタル集会も行われたようです。長野ホタルの会の三石

先生をお招きしてホタルについてお話を聞いたようです。

ホタルの幼虫のえさになるカワニナです。また今年もたくさんの学級でカワニナを育ててもらえると嬉しいです。





この写真は、下氷鉋小学校で生まれたオスとメスのホタルです。交尾をしているところです。昨年までいらした伊藤先生が苦勞して雄と雌のホタルを捕まえて交尾に成功したのです。そしてタマゴが生まれました。そしてタマゴの中で幼虫が育っているのが見えますね。

これは去年の12月頃の昇降口前にあった水槽の様子です。大きくなった幼虫が見えますね。

そして今年の4月20日、下氷鉋小学校で育ったホタルの幼虫を放流する日がきました。

去年までの放流式と違うのは、下氷鉋小学校で育った幼虫をたくさん放流できるということです。今までは、よそからいただいた幼虫や放流してたんですが、やっと下氷鉋小学校で育った幼虫を放流できたんですね。写真を見てみましょう。



8年前に、6年生が下氷鉋小学校の中でホタルが飛んでいるところを見たいという夢から出発し、たくさんの人たちの力をお借りしながら、夢が実現しました。

たくさんの人のねがいがこめられた
下氷鉋小学校のホタル

ま
今年もたくさん舞うといいですね



きっと6月になれば、ホタルの小径でホタルが夜空に舞う姿を見ることができるよう。

ぜひ、お家の人と一緒にホタルを見に来てほしいなと思います。そして、ホタルが舞うまでにどんな活動があったのか、ぜひお家の人にもお話ししてあげられるといいなと思います。

これでお話を終わります。